

雲 仙 市

担当課	総務部 政策企画課
担当者	小牟田、諸山
電 話	0957-38-3111
F A X	0957-38-3514

「第19回 雲仙人（くもせんじん）サロン」の開催について

雲仙市では、市民協働による第2次雲仙市総合計画の将来像の実現を図ることを目的に、総務省の「地域力創造アドバイザー制度」を活用しています。

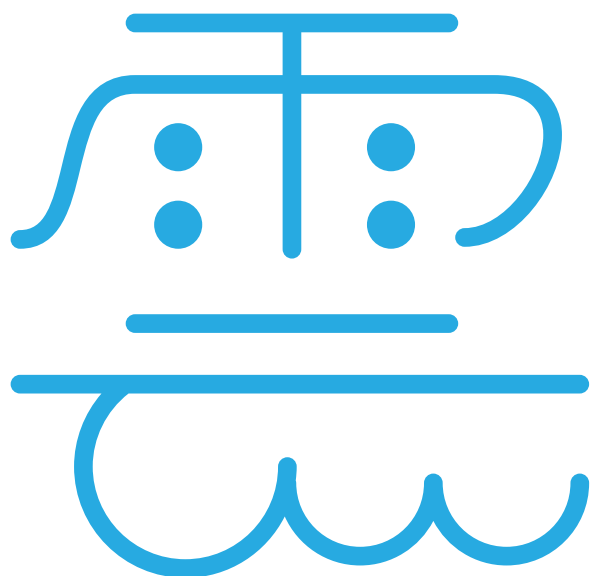
その事業の一環として、市内で多様な活動をされている方々に繋がっていただくため、ネットワーク会議「雲仙人サロン」を下記のとおり、開催いたします。

参加者には、地元の野菜を活かした手作りドレッシングを誕生させたストーリーについて知っていただくとともに、「どのようにパッケージのデザインをしているのか」、「商品のアイデアはどのように浮かぶのか」など、参加者の活動に対する悩みや工夫を情報交換し、また、共有してもらうことで、互いを支え合う場として活用していただこうと考えております。

記

- 日 時：令和2年9月24日（木）14時00分～15時30分（13時30分集合）
- 会 場：山の駅ベジドリーム（雲仙市国見町神代辛856-1）
- テーマ：「雲仙ナチュラルドレッシング誕生物語」
- スピーカー：小林芳子さん（「山の駅ベジドリーム」店長）

※今回のサロンは、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の参加者は少人数とし、その他の参加者はオンライン（「zoom」）による参加として募集いたします。



前回に引き続き現地は少人数で！
Zoomでも気軽にオンライン参加！

2020.9.24

雲仙人サロン in 国見町 & Zoom !

日時：9月24日（木） 13:30 集合

会場：山の駅ベジドリーム（雲仙市国見町）

雲仙市で「ものづくり」「ことおこし」に取り組む“人”を紹介する雲仙人サロン。
今回は雲仙市国見町ベジドリームの“小林芳子さん”！

“農”に注目して、土壌改良剤竹パウダーを開発、「山の駅ベジドリーム」開店、
地元野菜を活かした手作りドレッシングを誕生させた、そのストーリーをうかがいます。

● サロンの流れ

13:30 集合（オンライン参加も）

14:00 ~
「雲仙ナチュラルドレッシング誕生物語」

15:30 終了

● 雲仙人 Facebook



Facebookで
「雲仙人」を検索！

雲仙人サロンをほぼ毎月開催予定！
昨年のサロンや雲仙人の情報は、
Facebookをご確認ください。

● 会場アクセス



● 申し込み方法

- ・お申し込みは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
9月17日(木)までのお申し込みをお願いします。
(電話/FAX/メール等)
- ・新型コロナウイルス感染対策のため現地参加者は先着4名まで、
その他の方はオンライン参加とさせていただきます。
- ・Zoom参加ご希望の方へは、アプリや接続方法など、
別途お知らせさせていただきます。
- ・9月23日(水)にZoomの接続テストを実施予定です。
オンラインに不慣れな方や、自信がない方はご相談ください。

オンラインツールを使ってみたい方！応援します！

Zoomで雲仙人サロンに参加してみたい。
でもアプリの使い方がわからない…
そんな方もお気軽にご相談ください！
雲仙人仲間がお手伝いいたします！

● 問い合わせ先

雲仙市 総務部 政策企画課 (担当: 小牟田 / 諸山)
電話: 0957-38-3111 (内線: 2375) FAX: 0957-38-3514
メール: kikaku@city.unzen.lg.jp

FAX 送信票: 0957-38-3514 政策企画課 宛

[2020.9.24 雲仙人サロン] に

- ・参加する → 「参加する」の場合
・参加しない
- ・現地参加希望
 - ・Zoom参加希望

※該当する方を「○」で囲ってください。

所属

氏名

当日のご連絡先(電話番号)

緊急連絡やZoomの接続確認でご連絡させていただきます。

() -



スピーカー

小林芳子

「山の駅ベジドリーム」店長

公共工事を請け負う土木会社から一転、“農”に軸足を。放置竹林の竹を「竹パウダーみらい」(たい肥・土壌改良剤)として売り出す。地元野菜を販売し、活用する拠点「山の駅ベジドリーム」を2013年オープン。タマネギ、イチゴなどを使った無添加ドレッシングも開発。この「雲仙ナチュラルドレッシング」で食べる地元野菜たっぷりのランチは人気。今後は、ハーブで商品開発を考え中。

コーディネーター

野口智子

ゆとり研究所所長/
スローライフ・ジャパン事務局局長、副理事長

地域力創造アドバイザー(総務省)、地域再生マネージャー(ふるさと財団)。
現在はスローツーリズムの提案、商品開発、地域観光の育成、都市と田舎の交流、移住・定住プロジェクト、“食”をテーマにしたまちおこし、などに力を入れている。住民参加の独自の楽しいワークショップが得意。